



おがさわら

議会だより

第 148 号



令和五年一月二日
二十歳を祝う会

二十歳を祝う会



令和五年一月一日
小笠原村
二十歳を祝う会

二十歳を祝う会 (母島)

二十歳を祝う会 (父島)

議案審議	2
一般質問	3
委員会報告	6
議員レポート	7
編集後記	8

元旦(父島)2日(母島)と「二十歳を祝う会」が開催された。日本一早い開催だったはずである。父島、母島ともに多くの参加者あり、それぞれが感謝や近況を壇上で話してくれた。彼らはコロナ感染症の影響を多感な時期に受けた年代であり、慣れない都会での生活には多くの苦労があったと推察される。それでも苦境をしっかりと糧にして成長した姿を見せてくれた。島で生まれ育ち、島を離れてからも多くを学んだはずである。輝ける将来に向け可能性を求め失敗を恐れず果敢に挑戦してほしい。そしてこの島にいろんな場面で関わっていて欲しいと思う。精いっぱいのエールを送る。がんばれ!!

こんなことが決まりました

令和4年第4回定例会
12月7日、8日

- ✓ 令和4年度小笠原村一般会計補正予算(第4号)(専決処分)
- ✓ 令和4年度小笠原村一般会計補正予算(第5号)(専決処分)
- ✓ 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例(案)
- ✓ 特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例(案)
- ✓ 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例(案)
- ✓ 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例(案)
- ✓ 小笠原村村税条例の一部を改正する条例(案)
- ✓ 小笠原村高校生等の医療費の助成に関する条例(案)
- ✓ 令和4年度小笠原村一般会計補正予算(第6号)(案)
- ✓ 令和4年度小笠原村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)(案)
- ✓ 令和4年度小笠原村簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)(案)
- ✓ 令和4年小笠原村介護保険(保険事業勘定)特別会計補正予算(第2号)(案)
- ✓ 令和4年度小笠原村介護保険(介護サービス事業勘定)特別会計補正予算(第2号)(案)
- ✓ 令和4年度小笠原村下水道事業特別会計補正予算(第1号)(案)
- ✓ 令和4年度小笠原村浄化槽事業特別会計補正予算(第1号)(案)
- ✓ 財産の取得(介護浴槽)について(案)
- ✓ 東京都と小笠原村の間における旅券の申請受理及び交付等に係る事務委託に関する規約の一部変更について(案)

一般質問

築館俊一議員



有事の際の避難先について

築館議員 北朝鮮のミサイルが頻繁に打ち上げられているニュースをたびたび耳にするが、つい先日もJアラートが鳴ったことで驚いた村民は少なくない。村としてはどのように村民を誘導して避難させるか、シェルターなどの避難場所や今後について考えがあるか。

総務課長 ミサイルが着弾する恐れがある場合は、建物や地下へ避難する、窓のそばを離れる、物陰に隠れ、身を伏せ、頭を守る。武力攻撃による避難については国が認定した場合、国民を守るため避難指示、自衛隊、警察、消防機関と連携して、住民の安全を確保する。

電気・ガス代の高騰について

築館議員 電気・ガス代が高騰している。今後村として自家発電や、太陽光発電、蓄電池等の設置について補助や助成等の考えがあるのか。

村長 ロシアによるウクライナ侵攻や円安により電気代の高騰が家計への大きな打撃となっている。政府は総合経済対策を策定し、電気料金値上げの支援を検討している。現時点では東京都の補助制度なども充実していることから、村として住宅への太陽光発電設置設備に対する補助や助成は考えていない。東京都環境局では、島しょ地域を対象とした助成制度を今年立ち上げている。村民の方にはこのような助成制度を活用していただきたい。助成経費の4分の3以内または太陽光発電設備ではキロワットあたり30万円、蓄電池ではキロワットあたり30万円が上限になる。申請手続きは複雑な部分も多い為、お困りの場合については環境課に相談すれば可能な限り対応する。

片股敬昌議員



島しょにおける太陽光発電設備について

片股議員 どのような設備を準備したら良いのかわからない。

環境課長 クールネット東京のホームページで相談を。村も対応する。

片股議員 パワーコンディショナーも助成対象になるのか。

環境課長 対象に含まれるが、買い替え時はご自身で負担することになる。

片股議員 更地に設置した場合は。

環境課長 施設敷地内であれば対象になる。

片股議員 廃棄せざるを得なくなったパネルの処理方法は。

環境課長 2030年代後半には大量に廃棄される。環境省が検討に入っている。

片股議員 処理方法が明確でない段階でパネル設置を義務付けるといふ小池都知事の所信表明は如何なものかと思う。先に考えておくのが当然である。

環境課長 将来予見される問題を考えることは重要。パネルのリサイクルは難しいとされており、大きな社会問題になると考えられる。

片股議員 亡命ウイグル人総裁がパネル設置義務化を目指す都知事に（12月5日）慎重な対応を求めた。ウイグル人強制労働による中国製パネルを使えば「ジェノサイド」に加担することになる。パネルの原料になるシリコンは環境破壊を引き起こす有害物質であり、中国企業はウイグル人たちを強制的に働かせている。小池都知事はパネルの処理法が決まっていない状態でも何故かパネル設置に前のめりになっており、このようなことでは国際社会の理解は得られない。都議会で十分な審議を尽くすよう要望する。

清水良一議員



自主放送小笠原村チャンネルについて

清水議員 文字放送ができなくなり活用の仕方を再考する必要がある。①現在自主放送に掛かる費用②民間委託の状況③定時放送の検討④放送時間目標800時間に対して現在何時間

総務課長 ①議会中継システムリース料240万円保守点検委託55万円、イベント等の番組制作委託費150万円、自主放送に関わる人件費は一般職員人件費の中で対応

企画政策室長 ②イベントの記録番組の制作を民間に委託、当面の間継続。③インターネット配信が主流となり、当村の情報発信全体を今後検討、また定時放送をするにはコンテンツが少ない④現在1年間概ね80時間～100時間

清水議員 隠岐諸島海士町人口2300人の島でCATV自主放送を現在朝6:00から12:00までの番組表を作り定時放送を行っている。隠岐アイランズメディアという民間会社に年間750万で委託、半分を地方創生交付金で賄い、島民のコミュニティー強化に大変役に立っている。まずは村内お知らせ事項とニュース等を定時放送として民間に委託し番組表を作ってほしい。

村長 本村としての情報発信の仕方を整理検討。機材の更新もあるなか改めて再考。

村内施設の有効利用

清水議員 WIFI、太陽光発電等を完備した島民が自由に使えるスペースの拡充を目的に使用頻度が少ない建物の有効活用の検討は①情報センター②国土地理院の建物

総務課長 ①津波災害のための拠点としての機器等が置いてあり民間への文化活動等には管理上ふさわしくない。②国土地理院の機器があり使われている。

安藤重行議員



1) 障害者（児）福祉計画について

安藤議員 ①超離島の地理・交通・リソース等から、国・都指針と村の方針で中々整合性が取り難い中、障害児等の生活が継続できなくなることは、圏域含め国・都での整備目標だけではない離島指針を設ける等、島外へ移住せざるを得ない世帯の生活を支援する政策を考慮し、トータルケアシステムとして構築すべき重要な点では②児童発達支援事業、放課後等デイサービス事業を確保する中で、共生型サービスの仕組み作りが必要では③超離島でどうやったら何ができるのか、関係者で、より良い実施活動計画を策定するための研究会等を起ち上げ、解決策に取組んでいくべき④他に総合支援法、自立支援医療、補装具費支援制度、生活支援事業、課題などについて質問。

村民課長 1) ①生活拠点等の整備は法体系の機能を集約した拠点が無いが、これからも拠点の在り方の検討を進める。色々な形で相談支援体制等の整備を整理する。できうる支援を実施しているが、専門機関と連携し島で安心して暮らせるように、支援の充実を図る方針で取組んでいる。②障害児の放課後支援は対象児童の成長に合わせて、父母それぞれで事業を展開している。法定給付へのサービスに整理を検討している。③地域自立支援協議会の中で研究等にも対応していきたい。相談事業を核として丁寧に事業展開していく。

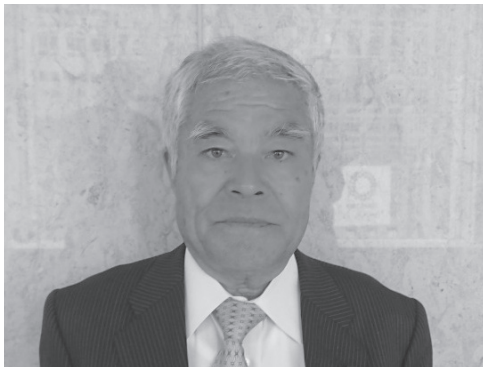
2) 住民健診の取組みについて

安藤議員 ①尿や血液でガンの早期発見に繋がり、スクリーニングのようなチェックもできるので住民健診で実施して、住民の命を守るための対策を早急に検証し、来年度の健診に間に合うような取組を

村民課長 2) ①医療課と引き続き検討していく。年度末を目標に受託健診機関等と今年度事業を振り返り、意見交換及び検討会で調整していく。

一般質問

稲垣 勇議員



村内の新型コロナウイルス感染症の現状と対策について

稲垣議員 以前は防災無線や村のホームページ等で日々の発生件数を広報していたが、2カ月ほど前からなくなっている。現在も村内で陽性者が発生しているという話は聞くが、その全容がどうなっているのかわからないという村民も多く、不安になっている。なぜ今までどおりの公表をしなくなったのか伺う。

総務課長 政府対策本部の決定により、9月26日以降陽性者の全数届出が見直されたとのこと、及び市町村ごとの集計が行われなくなったことにより、市町村別に把握することが出来なくなったため終了した。

9月25日までは、医療機関で確定した陽性者すべてについて、医師が都道府県（保健所）へ発生届の提出が義務付けられていた。この情報も基に、市町村ごとの陽性者数を都道府県から市町村へ情報提供されていた。これにより市町村で域内感染者数が公表できた。

医療機関で確定した陽性者のうち、発生届を提出する対象は、65歳以上、入院を要する方、重症化リスクがあり治療薬の投与が必要な方、酸素吸入が必要な方、妊娠中の方、これらの方は今までどおり都道府県から市町村へ情報提供されるが、これに当てはまらない多くの陽性者は市町村別に情報提供されなくなった。

稲垣議員 全体的に仕組みが変更になった為知ることが出来なくなったのはわかるが、今、全国的に第8波と言われ、多くなっている。年末年始を控え、自分の身、家族や地域の人々を守るためにも知りたい、知るべきと考える。

杉田 一男議員



海洋ごみ・プラごみについて

杉田議員 ①現状把握と今後の対策、都や国への要望は。②海洋ごみやプラスチックごみの取扱いの流れは。

村長 ①村と海岸管理者と役割分担しながら協力し、関係機関に要望していく。

環境課長 ②海岸の占有者は処理責任が定められていない。

公共事業について

杉田議員 ①高騰により村負担が増える中、今後の取組と事業執行は。②中学校や都営住宅等大きな仕事を抱える中で見解は。③未執行事業は請負会社や働く人にも影響。今年度の事業は年度内に実施を。

村長 ①都と連携し事業を推進する。③人材確保に努める。

総務課企画政策室長 ②複数年度契約で実施。新年度工事はゼロ債務負担行為活用検討。

建設水道課長 ③関連法案等遵守して最大限の努力を行う。

無電柱化の現状について

杉田議員 本村を優先的にやってもらいたい。見解は。

村長 島しょ全体の町村長と意見交換しながら要望活動等を進めていきたい。

建設水道課副参事 整備区間は緊急整備区間（母島の南進線一部）・優先整備区間・一般整備区間に分かれ、父島は一般整備区間。今年度、都は整備順序等を検討中とのこと。

新型コロナウイルス感染症対策

令和4年9月の委員会以降の国・東京都・村の対応などについて報告、質疑がありました。

【質疑】

- 診療所の医療体制を変えたのは何か問題等あったのか。
- オミクロン株対応ワクチン接種について副反応はでているのか。
- 子供用のワクチンはオミクロン株対応なのか、どのくらいの人数が受けているか。 等

小笠原諸島世界自然遺産

関連する主な会議のスケジュール、愛玩動物の適正な飼養及び管理に関する条例（ペット条例）について報告、質疑がありました。

【質疑】

- 殺鼠剤をカワラヒワが食べてしまうのではないか。
- 農業者にベイトステーションを提供できないのか。
- 管理計画見直し作業部会の内容を詳細に説明してほしい。 等

硫黄島調査特別委員会 12月8日

令和4年9月の委員会以降の硫黄島に関する動きについて報告がありました。

遺骨収集帰還事業

▶ 通年実施している滑走路地区の掘削作業、遺骨収集作業等のスケジュールについて報告がありました。遺骨収集は4回実施する予定の3回目が終了。

【質疑】

- 滑走路地区の調査で御柱がどこで見つかった等の報告はあるのか。
- 調査のスピードを上げられないのか。 等

その他の報告

- FCLP空母艦載機離着陸訓練
- 海上自衛隊訓練のHRS訓練、LCAC訓練 など

【質疑】

- 噴火の情報等はなかったのか。
- 訪島事業に代わるものをぜひ実施できるようにしてほしい。 等

小笠原航空路開設推進特別委員会 12月8日

令和4年6月の委員会以降の航空路開設推進に関する動きについての報告がありました。

【質疑】

- 航空機の機種は最終的にはいつ決まるのか。
- 意見交換会の内容を詳細に教えてほしい。 等

海士町視察

コロナの影響で3年ぶりに地方創生のトッランナー島根県隠岐諸島にある海士町へ議員4人と議会事務局長を交え視察に行ってきました。

面積33.4平方キロ人口2400人1島1町の島で平成14年ころの海士町の状況は超過疎化、超少子高齢化、超財政悪化、財政破綻寸前の町だったそうです。言い換えれば日本の課題先進地だそうです。戦後のピーク時には人口7000人を数えた島が現在2400人。一方小笠原村は昭和19年に人口7700人現在2500人と全く違う歴史を歩んで来たにもかかわらず、非常に近いものを感じてきました。

そして海士町は危機意識をもって平成14年に町長になった山内氏の元、町長の50%給与カットから始まり助役、教育長、管理職、議員そして職員組合からの自主カット申し出、議員数、職員数の削減等で人件費を2億円削減する。そのお金を子育て支援、産業振興に充てていったそうです。

その後一次産業育成のための投資を町自ら積極的に行い「株式会社ふるさと海士」という会社を町の出資で立ち上げ最新の冷凍施設や岩ガキの養殖事業等の事業を展開し、Iターン者のための村営住宅等も243戸整備していく。

そんな中「まちづくり」の原点は「人づくり」ということで、平成18年より若手の一流講師や都会の若者たちを海士町に招き小中高で出前授業を行った。



一戸建ての町営住宅

そして都会で活躍しているやる気のある若者を逆に海士ファンとして最終日に島への移住を勧誘する。（島の人たちが「人さらいバーベキュー」と呼んでいるそうだ）そして人づくりに多大な投資を行い、新宿日本語学校との連携、JICAとの連携等、国際交流を促進し、保・小・中・高連携教育、島丸ごと図書館構想、島留学の展開、そしてグローバル（グローバルな考えを持ちローカルで行動をする人材）な人材づくりのために高校と連携した公営塾「隠岐学習センター」を創設、都会との教育格差を打破し、生徒一人一人の夢の実現を目指す。この学習センターに毎日高校が終わると100人以上の高校生がやってくるそうだ。

とにかくこの海士町のやっていることのほんの一部を紹介させてもらったのだが、ぜひ保小中高一貫教育のような小笠原もこの海士町の「ひとづくり」プランを少しでも真似をして素敵な人材を育成し島っこ一人一人の夢を実現できる島にしていきたいと感じた。

最後に「ないものはない」を合言葉にした海士町の禁句

「お金がない、前例がない、制度がない、だからできない、など泣きは言わない」だそうだ。 清水良一



島丸ごと図書館のメイン図書館外は田んぼで島のお米は全部作れるそうだ。うらやましい。

令和5年第1回定例会会議日程表（予定）

月 日	開始時間	会議名	内容
3月9日（木）	午前10時	本会議	会期の決定、一般質問等
3月10日（金）	午前9時	総務委員会	
	午前11時	硫黄島調査特別委員会	
	午後2時	小笠原航空路開設推進特別委員会	
	午後3時	本会議2日目	議案審議、 予算特別委員会設置
3月15日（水）	午前9時	令和5年度予算特別委員会	予算審議
3月16日（木）	午前9時	令和5年度決算特別委員会	予算審議
	午後3時	本会議	議案審議、予算採決

現時点での会議予定です。会議日程については変更がある場合がありますのでご容赦ください。本会議、各委員会は傍聴できます。開会5分前まで傍聴受付を行っています。またテレビ11チャンネル中継放送を、また、Youtubeでライブ配信を行います。ぜひご覧ください。



会議での発言内容など詳しく知りたい時は、会議録をご覧ください。

- 村役場議会事務局
 - 地域福祉センター図書室
 - 母島支所
 - 母島村民会館図書室
- で閲覧できます。

パソコンやスマートフォンなどで見ることもできます。

小笠原村公式サイト→議会事務局→会議録で 検 索



編集後記

引き続きコロナで始まった令和4年度。小笠原にもとうとうコロナが入り込み、医療体制が脆弱な島に集団感染が広がり保健所をはじめ医療機関に混乱をきたし、改めてコロナの恐ろしさを痛感しました。島しょ部をはじめ国内、世界中でも一日も早い収束を願うばかりです。

世界ではロシアによるウクライナ侵攻は始まり、平和と経済を脅かしています。隣国、北朝鮮は日本近海へのミサイルを多発。誤情報ではありましたが、小笠原にもJアラートが鳴り響き島民が驚きました。平和宣言をしている小笠原より世界の平和と安寧を祈ります。

ワールドカップでは日本チームが大いに活躍。悲願であるベスト16の壁を破ることはできませんでしたが、優勝候補とされた強敵ドイツ、スペインを相手に奮闘し、2対1で破ることが出来ました。マスコミは奇跡と称される戦いであったと評価し、それを見る人々に感動を与える試合でした。コロナと戦争で混沌とした世界に一筋の光が差し込んだようです。これを皮切りに明るいニュースがたくさん聞ける日が来ることを願っております。

★議会だより編集委員

安藤重行 清水良一
築館俊一



築館 俊一